

さわやかな文化の目に

高田重治さんら五人

かくれた篤行者を表彰

第七回を迎えた市民賞の選考委員会（浜田健夫委員長）は、このほど開かれ、推せんのおつた十三人のなかから、高田重治さんら五人を決めました。

そして、文化の日の十一月三日表彰式が行われ、杉本市長から表彰状と記念のたてが、一人ひとりに贈られました。



市長賞は、広く一般市民のなかから産業、教育、文化、政治、社会労働などの各分野に貢献された功労者や社会のための事業、善行など、かくれた篤行者をあらかじめ市民から候補者として推せん願ひ、表彰選考委員会を選考し、その答申を得て表彰者を決めることになっていきます。

今年も、十月十九日に開かれた表彰選考委員会（浜田健夫委員長）で、十三人の候補者のなかから五人が選考され、決定をみました。

三日、午前十時から開かれた表彰式には、授賞者全員が出席。杉本市長から「明治百年、物質と精神文化のなかで、指導的な立場にありながら、縁の下の力ももちとして尽されてきた市の宝だ。胸につけたバラの花のように、いまま



の業績以上に花をさかしてほしい。そして、後輩の指導と市の文化発展のため、先頭になつていつまでも尽してほしい。私たちも五人に続く決意だ」と、お祝いのあいさつ。

浜田選考委員長から「推せんしていた十三人は、それぞれ分野で活躍された立派な人たちがみても、この人ならばと五人の人を選んだ。今後も、それぞれの分野で社会のために尽してほしい」と選考の経過報告があったあと、一人ひとりの功績が読みあげられ、杉本市長から表彰状と記念の表彰たてが贈られました。

つづいて、米賀を代表して土居議長が「賞を受けることは、なみたいではない。永年の善行のたまものであり、私たちの模範だ。お元気で後進のため、なお一層の指導、二鞭撻をいただきたい」と、お祝いが述べられ、授賞者を代表して、利岡富次さんから「市民として最高の栄誉だ。私たちはいたって平凡だが、職務に對して最善を尽くしてきた。余生を社会のために尽くすことが表彰へのお礼だ。有終の美をとげられるようご指導いただきたい」と、お礼のあいさつがありました。

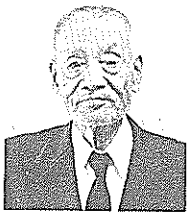
このあと、授賞者を囲んで記念撮影。乾杯をして式を終わりました。

顔・あなたの顔を差しあげます

広報紙にのったあなたの写真を差しあげます。ご希望の方は企画財政課広報公聴係へ、ハガキ、電話（3-2111）でどうぞ。

南国市民賞

《一般》高田 重治



大埔 87歳

《教育行政》利岡 富次



片山 74歳

《教育》北岡 博



三島 75歳

《社会労働》利岡 正美



小籠 82歳

《社会福祉》浜田 弥芳



前浜 63歳

若い頃は青年団長として諸福信用組合の設立に努力し、十年間同組合理事、現在の大嶽農協発展の基礎をつくる。長岡郡農会の理事、長岡郡桑糸組合設立委員長、同理事長、大嶽農業委員などを歴任。農業の振興に貢献。行政面では、大嶽村などの収入役をつとめ、昭和四年より四期間、大嶽村会議員、長岡郡町議議長、市合併に尽力。西野々部落公民館長十年、連絡員十年。大嶽地区公民館運営委員二十五年。社会福祉向上のために活躍。

大正八年、高知師範学校卒。戦後教育の混乱期に県下小学校校長として正常化に努力。今日の市教育の基礎をつくる。教育に関する著書多く、国語教育の進展に貢献。昭和四十二年、再度にわたり市教育長に選ばれる。長期間、片山部落公民館長として地域住民の教養と生活の向上をはかり、また文化財審議委員として文化財を愛護、紹介。市史編さん委員として専任で執筆。市社会福祉協議会会長、老人クラブ連合会長として社会福祉の充実に努めている。

県女子師範学校などの教師として多くの小学校、青年学校教員の養成につとめ、県視学として歴史教育の指導につくした。高知市昭和十一年、校舎に収容された戦災や南海地震の罹災者の福祉向上につとめ、また特殊教育と学校図書館教育で先鞭をつけた。片山池中学校長のとき、同和教育と勤労教育を重点目標にし、その一環として、学校の植林教育に成果をあげた。現在、市文化財審議委員として文化財の保護と発見に努めている。

昭和三年より現在にいたるまで四十六年間にわたり新聞配達をしており、質素な生活の中でその収入を社会のために役立ててきた。今年六月には恵まれない老人のために土佐清風園に十方円の寄附。さらに七月のたつまき災害の際にも被災者のために十方円の寄付を行なった。以前は自宅に結婚相談所をもちけて相談相手になり、また補装されていない道路の草取りや凸凹を直すために暇を見つけては無償で働き、その行ないは人から深く感謝されている。

昭和三年、滋賀県立彦根高女卒。昭和四年から三十二年間、安芸郡や南国市の教師として学校教育に尽力。三十六年から現在にいたるまで前浜地区婦人会長として実績をあげ、三十七年から四十七年まで市連合婦人会副会長、四十七年同会長に選任され、県下の婦人會をリードしている。また婦人には最も困難な人権擁護委員となり、人権が平等に守られるよう働いており、そのほか家庭児童相談員や心配ごと相談員として多忙をかへりみず公職のため努力している。

市民文化の祭典

文化祭と美術展

11月24日～12月1日

市文化祭

会場・中央公民館と大嶽公民館
催し物・舞台グループ（剣詩舞）
詩吟、謡曲、箏曲、尺八、音楽、
日本舞踊、演劇、着物きつけ）展
示グループ（華道、絵画、書道、
写真、俳句、短歌、茶道）

市美術展

会場・市民体育館
一般の部・洋画、工芸、書道
漫画、写真、日本画
児童、生徒の部・図画（絵画、
版画、デザイン）工芸（工作、彫
そ、工芸、立体作品）習字（毛筆
条幅、硬筆、ペン字）写真

